

1.1.3 数表を使って授業しよう！

中学1年の教科書に九九表が載っています。この数表を使った授業をしてみませんか？ 発問はいたって簡単です。「1から100までの数で 数を探してみよう～。」です。

九九で出現する数 (36個)

÷	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
0										
10										
20										
30										
40										
50										
60										
70										
80										
90										

対象：中学1年

素数 (25個)

÷	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
0										
10										
20										
30										
40										
50										
60										
70										
80										
90										

対象：中学1年

累乗数 (13個)

÷	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
0										
10										
20										
30										
40										
50										
60										
70										
80										
90										

対象：中学1年

ハーシャッド数 (33個)

÷	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
0										
10										
20										
30										
40										
50										
60										
70										
80										
90										

対象：中学1, 3年

三角数 (13個)

÷	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
0										
10										
20										
30										
40										
50										
60										
70										
80										
90										

対象：中学1年

「正の数・負の数」で累乗を学習したときが効果的です。

「九九ででてくる数って1から100までに何個あるか知ってる？ 調べてみようか？」

「素数って小学校で習ったよね。素数は何個あるかな？」

「じゃ、この前勉強した累乗で表せる数は何個かなあ～。」

こんな感じです。かなりおもしろいと思いますよ。もし生徒が簡単に正解までたどり着くような優秀な生徒たちだったら、最後に

「ハーシャッド数ってしってるかな？ 各位の数の和でその数が割り切れる数のことをいうんだ。例えば12は $1+2=3$ で $12\div3=4$ で割り切れるからハーシャッド数なんだ。この数を探してみよう。」

こんな感じでがんばってください。生徒の元気に出会えると思います。